

# 令和6年教育委員会第4回臨時会会議録

開会日時 令和6年4月26日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時23分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花 高子  
同職務代理者 谷部 憲子  
委 員 井口 信二  
委 員 上原 有美江  
委 員 壺内 明  
委 員 田中 健

## 議場出席委員

・教育次長	中島 俊一	・学校教育担当部長	山梨 智弘
・教育総務課長	山崎 淳	・学校環境整備担当課長 兼 学校施設担当課長	尾崎 隆夫
・学務課長	羽田 顕	・教育指導課長	谷合みやこ
・学校教育推進担当課長	江川 泰輔	・総合教育センター教育支援課長	二ノ宮 正信
・総合教育センター管理担当課長	土居 真喜	・統括指導主事	青木 大輔
・統括指導主事	田辺 留美子	・地域教育課長 兼 放課後支援課長	高橋 裕之
・生涯学習課長	柏原 正彦	・生涯スポーツ課長	宮木 亮
・中央図書館長	新井 秀成		

書記 ・教育企画係長 大石 睦貴

開会宣言 教育長 小花 高子 午前10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花 高子 委員 谷部 憲子 委員 井口 信二  
以上の委員3名を指定する。

開会時刻 10時00分

**○教育長** おはようございます。それでは、出席委員が定足数に達しておりますので、令和6年教育委員会第4回臨時会を開会いたします。

本日の議事録の署名は、私に加え、谷部委員と井口委員をお願いいたします。

本日は、報告事項等が3件でございます。

それでは、報告事項にまいります。報告事項等の1「令和6年度中学生の職場体験について」の報告をお願いします。

教育指導課長。

**○教育指導課長** それでは「令和6年度中学生の職場体験について」ご報告いたします。

職場体験は望ましい社会性や勤労観、職業観を育成し、自立や社会参加を促すキャリア教育の一環として、中学校2年生全員を対象として、行っているものでございます。

区役所の各部署、地域の施設、企業の皆様にご協力いただき、進めております。今年度は別紙にございますとおり、中学校全校24校が3日間から5日間の日程で実施をする予定でございます。

コロナ禍において令和2年度は中止を余儀なくされましたが、令和3年度からはオンラインで毎授業等方法を工夫して、職場に触れる活動を行ってまいりました。

本紙にお戻りいただきまして、昨年度、令和5年度は23校が実際に職場を訪問し、ほか1校は企業の方々を9社、学校にお招きしてブースを設け、生徒がそのブースを回りお話を伺いましたり、簡単な体験をする形で行われました。

体験した生徒からは、体験を通して仕事の大変さや大切さ、働く意味等を学ぶことができたという感想。事業者の皆様からも生徒の様子を価値づけてくださる感想を頂き、冒頭申し上げました目的を達成できたと考えております。

説明は以上でございます。よろしく願いいたします。

**○教育長** ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらお願いしたいと思います。

壺内委員、お願いいたします。

**○壺内委員** コロナ禍の中で全校24校中、23校が実際に職場に行き、1校はいろいろな話を聞くというチャンスに恵まれたということですね。私たちが常日頃から見たり聞いたりすることは忘れていても、体験したことは覚えていることが多いので、中学2年生にとって、とても重要な時間だと思います。3日間以上ということで、5日間やっている学校が10校ぐらいあるので、学校が非常に重要視しているのですね。

職場体験は全国的にやっているわけですが、将来、社会生活を営む上で、この体験学習についてはぜひとも来年、再来年と継続して各学校ともやることを願っているところです。

感想でございます。以上です。

○教育長 ありがとうございます。

井口委員、お願いいたします。

○井口委員 受け入れてくださる企業を見つけるのはなかなか大変だと思います。職業自体もいろいろ変わってきていると思うので、そういう方向性で何か課題になっているようなことがあれば、教えていただきたいなと思います。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 ありがとうございます。例年、ご協力いただいている地域の地元の企業様に受け入れていただいておりますので、受入先がなかなか難しいという声は、今のところは、お陰さまで届いておりません。

参考までに、受入先は600社を数えまして、大変多くの企業の皆様に受け入れられておりますが、やはり委員のご発言にございましたとおり、職業が変わっていく中、今後、そういった課題が出てまいりましたら、教育委員会としても新規開拓を含め、学校と協働してやってまいる必要があるという認識はございます。

以上でございます。

○教育長 よろしいでしょうか。

○井口委員 はい。

○教育長 ほかにいかがでしょうか。

上原委員、お願いいたします。

○上原委員 去年は23校がちゃんと職場体験をして、1校だけがブースを回るという形になったということですね。ブースを回るというのは、どういうことをやったのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 体育館にコーナーを設けまして、生徒が9社のうち2社を選び、そちらのコーナーに伺って、お話を聞いたり、簡単な作業を経験したりしたと報告を受けております。

以上でございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 そうすると、単発的だけれども、2時間ぐらいでやったのですか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 授業時数を何時間かけたかは報告を受けておりません。申し訳ございません。

○教育長 上原委員。

○上原委員 ほかの学校は1日行っているわけじゃないですか。例えば1日8時間までではないとしても、5時間とか6時間、その職場のことを体験していると思います。ブースを回るというだけだと、そこまでの時間は使っていないように思うので、その辺で差があるのかなという

のと、今年はその中学校はどうするつもりでいるのでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 当該の中学校は、この企業様をお呼びした体験のほかに、講師をお招きして、職業に関する講演を伺ったりするなど、職場体験という意味では合計3日間、実施しております。

そして、今年度は実際に企業に赴くという計画をしております。

以上でございます。

○教育長 上原委員。

○上原委員 葛飾区は中小企業の町で、町工場がいっぱいあって、昔は子どももそれこそ小学生ぐらいからニス塗りなどをして、仕事ってこういうものなんだよというのを、小さいときから見ていたのです。

ところが、今の子どもたちって、親がどんなふうにして働いているのかほぼ見ていないのです。だから、働くという意味自体を知るのは、多分これが最初なんだと思う。

それで、またもう一つには、働いた後に、「ありがとうね。助かったよ」と言われるのも初めてなの。基本、ほぼ今の子どもたちは、そういう働くということをしたことがないということが多いのではないかなと思うのです。職場体験の場でやっとお父さんやお母さんの仕事ってどういうものなんだろうというのを疑問に思い、世の中を見ていくときだと思うのです。

ここをきちんとやらないと、大人になった時の働き方に影響が出てしまうので、きちんと体験をさせてあげてほしいです。そして「よく頑張ったね」と、最終日にでも「君たちがいて助かったよ」という言葉を掛けてあげるだけで、子どもたちもすごく成長するのではないかなと思います。各職場さんにも言葉掛けをお願いしておくことで、子どもたちが仕事って、働くってことは楽しいと思うことができるのではないかと思います。いかがでしょうか。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 一昨年度からコロナなどがどうなるかということが見通せない中で、そのような取り組みをしたと報告を受けております。

今後は、実際に足を運ぶというのが大原則ですので、委員のご発言にございましたとおり、実際の体験、そして人と関わる、触れ合うということを主眼に置いていくということは、今後の方向性としては、そこはきちんと学校にも確認してまいりたいと思っておりますし、また企業様と事前のお打合せの中で、ぜひそういった言葉掛けをしてほしいとお願いをしていくことも大事かと思っておりますので、校長会を通じて、発信してまいりたいと思っております。

以上でございます。

○教育長 よろしいですか。

○上原委員 はい。

○教育長 ほかにはいかがでございましょう。

田中委員、お願いします。

○田中委員 職場体験について。まず、企業様、先ほど600社ですかね、ご参加いただいているということで、本当に感謝を申し上げたいと思います。今、上原委員がおっしゃった話にも通じるのですけれども、望ましい社会性や勤労観・職業観を育成するという目的があります。今回、中学生にとって初めての仕事の体験というところで、仕事をするということと、その対価としてお金でなくて感謝を受けるというところで、感謝があるといいのかなと私も理解しました。

一方で、教育自体も、私も学校にいたのが30年前なので、大分様変わりしていると思っていて、そういったところが果たして企業様のほうでご認識あるかというところですか、あとはこういった望ましい社会性や勤労観・職業観というところがある程度主観も入ってくると思うので、教育委員会として望むガイドラインと言いますか、そういったものを提示すると、企業様も取組により協力しやすくなるのではないかなと思いましたが、そちらをご検討いただければと思います。

○教育長 教育指導課長。

○教育指導課長 この中学生の職場体験につきましては、文部科学省が中学校職場体験ガイドということで考え方を示しておりましたり、また東京都も「わく(W o r k) わく(W o r k) W e e k T o k y o 中学生の職場体験報告書」というものを出して、その中で実施要綱を示しておりましたり、考え方としてはそういった位置づけがございまして、葛飾区もかつしか教育プランの基本方針2に「家庭・地域・学校が連携して子どもの豊かな成長を促します」ということで明確に位置づけておりますので、そこを学校と確認しながら進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

○教育長 よろしいですか。

田中委員。

○田中委員 ありがとうございます。そういった目的が明確になっているということですね。

あとは、企業様の中でも子どもになかなか接しない方もいらっしゃると思うので、分かりやすい補足事項があれば、区としても用意していいのかなと思った次第でございます。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項等の1を終わりといたします。

次に、報告事項等の2「令和6年度葛飾区子どもまつりの実施結果について」報告をお願いします。

地域教育課長。

**○地域教育課長** それでは、私から「令和6年度葛飾区子どもまつりの実施結果について」のご報告を申し上げます。

お手元の資料をご覧ください。こちら、子どもまつりにつきましては、今年度で第45回目を迎えた事業でございます。目的につきましては、1に記載のとおりで、この前の日曜日、21日に開催いたしました。昨年は雨天中止、その前はコロナ禍で一部のプログラムをオンラインで実施するというものでございましたので、現地での実施につきましては、実に5年ぶりの開催となったわけでございます。

会場及び主催につきましては資料3、4に記載のとおりでございます。5のコーナー数ですが、7に記載の参加団体が子どもたちのために様々な体験やものづくりといったものを実施したほか、中央ステージにおきましては、手品や吹奏楽、踊りなどのイベントを実施いたしまして、大変盛り上がったところでございます。

参加者数につきましては、約2万9,000人ということで、コロナ禍以前に実施していたときとほぼ同じぐらいの来場者となっております。

また、最後に救護及び迷子でございますけれども、救護については工作コーナーでのとげ刺さりや会場内で転んでのすり傷といったものが救護の対象になってございます。また、迷子につきましては、無事、全員、保護者に引き渡し完了してございます。

5年ぶりの開催ではございましたが、大きな事故もなく無事に終了することができましたのは、子ども育成連合会、あるいは各団体のご協力のお陰だと感じております。今後、各団体にアンケートを実施し、さらなる改善点なども確認してまいりたいと思っております。

ご説明は以上でございます。

**○教育長** ただいまの報告につきまして、何かご質問、ご意見ございますでしょうか。

谷部委員、お願いいたします。

**○谷部委員** 感想です。当日、お天気もよくて、5年ぶりに開催されて本当によかったなと思っています。私もプライベートなのですが、孫2人と一緒に回らせていただいて、本当にどこのコーナーも親切に、上の孫は4歳だったのでいろいろ体験できるのですがけれども、それでも補助が必要なところなどは、ボランティア団体の方たちが本当に大変かわいがってくださって、やってくださったのでありがたいなと思います。皆さん、ボランティアで従事してくださっているんで、それであれだけの人が集まって、あれだけのコーナーがあるって、すごいことだなと改めて感謝した次第です。

皆様によりしくお伝えください。ありがとうございました。

**○教育長** ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項等の2を終わりといたします。

次に、報告事項等の3「エンジョイスポーツ2024（かつしかスポーツ大会総合開会式）及び

スポーツ教室の実施結果について」の報告をお願いします。

生涯スポーツ課長。

**○生涯スポーツ課長** それでは、私から「エンジョイスポーツ 2024（かつしかスポーツ大会総合開会式）及びスポーツ教室の実施結果について」ご説明いたします。

まず、1から3の「日時」「天候」「会場」についてあわせてご説明いたします。4月14日、晴天の中、今年度の各スポーツ大会を総括した総合開会式と、本区のスポーツの普及発展に長年にわたって貢献いただいた方などに対する表彰式。さらには、元スポーツ選手を講師として野球、サッカー、バレーボール、そしてラグビーなどの各スポーツ教室を実施したものでございます。総合開会式は、奥戸の陸上競技場、表彰式は奥戸の体育館の小体育室、各スポーツ教室については、陸上競技場ほかでございます。

次に、4の「参加人数」でございます。合計で3,978人の方々にお越し頂きました。内訳については、別紙をご覧ください。1の「総合開会式・表彰式」、2の「開会式に合わせて実施したスポーツ教室」の内訳を記載させていただいております。なお、括弧内は参加者数及び見学者数の前年度、令和5年度の参加人数を表しているものでございます。

3の「参加者数及び見学者数の合計」でございますが、参加者数合計としては1,970人、見学者数合計としては2,008人、総合計として3,978人の方々にお越しいただいたものでございます。

資料にお戻りください。5の「救護」でございます。当日は、会場内に医師会のご協力の下、医師と看護師を配置してございます。応急処置としては4件ございまして、内訳でございますが、熱中症が1件、倦怠感が1件、鼻出血が1件、肩甲骨部痛が1件ということで、これらはラグビーまたはサッカー教室の中で発症したものでございます。いずれも軽症ということで、救急搬送には至らなかったものでございます。

次に、6の「表彰式」でございます。区からは、体育功労者表彰として13名、社会体育優良団体として1団体、本区のスポーツ協会からスポーツ賞として2団体、個人32名の方の表彰を行わせていただきました。

最後に、7の「その他」でございます。前回、令和5年度からこの区民体育大会とエンジョイスポーツ 2024の総合開会式を合同で開催しております。開会式では、体育功労者等の表彰を行ったほか、新たな葛飾区トップアスリートへの認定証の授与、こちらはデフ水泳の玉造珠宇選手でございます。また、都民体育大会選手団の壮行会も実施したものでございます。

説明は以上でございます。

**○教育長** ただいまの報告につきまして、ご質問、ご意見などございましたらお願いしたいと思います。

上原委員。

○上原委員 救護のところで、熱中症1件、倦怠感1件とあったのですが、今年は温度差がすごく激しくて、通常発生しない熱中症が出てきているのだと思います。これからいろいろな運動会とか始まりますが、熱中症になるという可能性が結構高くなってきているのではないかなと思うのです。倦怠感というの、もしかしたら熱中症の一手前だと思うのです。

ですから、何か催しものやるときに、熱中症対策というのをちょっと考えていかないと今年はかなり厳しくなるのではないかなと思うので、その辺を考えていただければと思います。

○教育長 生涯スポーツ課長。

○生涯スポーツ課長 ありがとうございます。おっしゃるように、もうここ数年、こういう状況でございますので、またこの総合開会式のときは、当日朝、参加者や従事いただくスタッフの方々に対しても、注意喚起を丁寧に行わせていただきました。

また、救護では、消耗品ですとか、必要な物品は取りそろえた上で、熱中症が発生することを想定して準備を進めておりましたので、今後も引き続きできることは十分事前に考えていきたいと考えております。

○教育長 上原委員。

○上原委員 以前、水分補給をして冷房のきいた部屋にいても熱中症になりかかったことがありました。熱中症って本当に怖いので、お水を飲んでいけば大丈夫とか、涼しかったら大丈夫とかいう問題ではないので、今後、本当にその辺をよく気をつけてほしいです。スタッフの方たちもなりやすいということも考えていかないと、せっかくスタッフをやってくれているのに、熱中症にかかりましたといったら申し訳ないので、今後気をつけていただければと思います。

要望です。

○教育長 ありがとうございます。ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上で報告事項の3を終わりいたします。

以上で、本日用意のある案件は終了でございますけれども、何かその他で委員の皆様からご意見、ご質問がございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、以上をもちまして、令和6年教育委員会第4回臨時会を閉会いたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時23分